



【今週の暗唱聖句】 成長4.5.6月号/CS成長センター p162より

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きくその道は広いからです。マタイ7:13

●滅びの門の広さを考えてみよう。そもそもそれは罪の道にはかならない。不潔、傲慢、虚栄、怒り、復讐心、野心、貪欲など、さまざまな罪のタイルで飾られた大通りである。それは、神に逆らう心、自己中心的な心、そしてこの世を愛する心になじんだ道であり、さらにその心を一層助長する道である。あたかも財産や権力、あるいは名誉や富を持つほどに、その邪悪さの中にさらに深く人が沈んでいくように。

●老若男女を問わず、豊かな人も貧しい人も、学びのある人もない人も身分の高い人も低い人も、みな、この大通りを通してゆき、立ち止まる

ことを知らない。だからこそ、狭い道を見いだすことは難しい。

●狭い門は、人になじみのない道。悔い改めを通る道であり、いわゆる生来の罪を背負っては決して入ることのできない道である。罪と欲望でパンパンに膨らんだトランクを両手に、狭い道を進むことはできない。その門をくぐり抜けるには、それこそすべてを捨てる根本的な霊の刷新が必要である（Iペテロ1:18）。ルカは「努力して」と加える（13:24）。自身の自我と戦い、十字架の下に降伏する奮闘あってこそ、入れる道なのである。■

【今週の英語】 Adrian Rogers "Adrianisms"

▼The best way to know God's will for the rest of your life is to **do His will right now**. It's hard to steer a ship that's not moving. 残された人生に対する神の御心を知るための最も良い方法は、今、神の御心を行なうことである。動いていない船の舵を取ろう

としてもできない相談である。

▼God loves us just the way we are. **But** he loves us too much to leave us that way. 神は私達をありのままの姿で愛してくださいます。しかし、私達を本当に愛しておられるために、私達をそのままの姿にしておかれることはありません。■

【先週のMESSAGEより】 求めなさい マタイ7:7-11, ルカ11:5-13, 18:1-8

主イエスは私達が何かを神に求めるとき、神はその**求めの真剣さと度合い**とをご覧になられることを強調された。ルカ11章の夜中のパン騒動、ルカ18章の執拗なやもめと不正な裁判官のたとえ話はその好例である。二つの話しの共通項は①大変困っている状況だった、②非常識と思われたり、断られてもあくまで頼み続けた、③頼まれた方は「しかたなく」求めに応じた、④人間でさえこうなら、まして善であり、愛の神は求めに応じないはずがない。さて、私達は私達の求めについてどれくらい神に真剣に求めているだろうか。